

高田高校同窓会報

第18号
平成25年 1月10日
発行
高田高等学校
同窓会
印刷所 小野高速印刷株式会社



会長就任に際して



十四期
同窓会長
永松 康士

皆様、今日は。いつも元氣なご挨拶に御礼申し上げます。また、平素からの母校高田高校同窓会並びに母校に対するご支援に衷心より感謝申し上げます。愚生、もとより浅学非才ではありますが、この度縁あつて前会長・桑原重信氏の後任として、高田高校同窓会の会長に就任しました。何卒よろしくお願い致します。今後とも前会長同様、ご指導・ご協力頂きますようお願いする次第です。

さて、母校は県立高等学校の県北の雄として運動に勉強に実績を残し、数多くの人材を日本の各界に輩出して来ました。平成二十二年は母校創立百周年募金を同窓会会員を中心にお願いし、お陰で盛大な百周年行事を終了する事が出来ました。これも偏に同窓会会員並びに地域有縁の方々のおかげ後押しのお陰と前会長を筆頭に関係者一同とともに慶んだことです。今後とも、年会費、一口千円以上の会

費の納入のご喜捨をお願い致します。在校生(後輩)の姿を見ますと、日々高校生活を満喫し頑張っているようです。元氣な挨拶も我々先輩にも返ってきて、高田の町も元氣が出ます。百周年に費やした貴重な皆様からの浄財も無駄ではなかったと秘かに喜んでいきます。

ところで、大分県立高田高等学校同窓会会則の第二条(目的)には、『本会は、会員相互の友誼を厚くし親睦を兼ねて母校発展に寄与することを目的とする』と、記載されています。今後とも各期の同窓生が人生の節目毎に同窓会を開催し親睦を深め、明日への希望の活力源にして欲しい。又、遠方でお暮らしの同窓会員の皆様、東京中心は六月開催、大阪中心は二月開催の各期総合の同窓会に参加し、会員相互の友誼を厚くし母校への想いを新たにしたい。大阪・在京同窓会の会長様を始め、担当幹事の皆様にはいつも敬意を抱いています。今後とも、よろしくお願ひします。又、本部同窓会総会は、平成二十五年六月八日(土)午後六時から豊後高田・ホテル清照で開催します。会費は四千円です。本部同窓会にも里帰りし、同窓会懇親会に是非

退任にあたって



十期
前同窓会長
桑原 重信

参加して頂き良き智慧をお教え下さい。最後になりましたが、同窓会の益々の繁栄と会員皆様方の益々のご健康とご活躍を祈念してご挨拶と致します。

平成十三年六月の総会に於まして、故水之江昭正前会長の後任として、同窓会長をお受けして以来、十一年の長きにわたり続けさせていただきました。これもひとえに同窓会の皆様方の御協力、御支援の賜と心より御礼申し上げます。顧みますと、一番の思い出は平成二十二年十月に開催されました高田高等学校創立百周年記念事業です。百周年事業として全教室に空調設備を設置出来た事、吹奏楽部の楽器を更新、カヌー部、野球部等各部への設備、備品等の寄贈、そして心に残る式典や親睦会等、これもひとえに一万六千余名にもぼる県立高田高等学校卒業生の御支援のお陰だと深く感謝申し上げます。又、

一年に一度の在京高田高校同窓会総会、関西地区の高田高校関西支部懇親会への出席、東京、関西地区の会長を初め同窓会の皆様方には大変お世話になりました。私にとりまして沢山の友達との出会いは、大変楽しい思い出として、心に深く残っております。厚くお礼申し上げます。

新会長永松同窓会長は、元高田高校の校長を歴任、教育者としてすばらしい新会長です。

今後、新会長への会員皆様方の御協力を旧会長としまして切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、母校県立高田高等学校の発展、そして同窓会会員皆様方の御健勝を祈念申し上げます。退任のお礼の御挨拶といたします。ありがとうございます。感謝!!



校長

吉村昌也

志手ヶ原の大地を吹き抜ける北風に冬の厳しさを感じ、周囲の山々も雪化粧をまとう季節と

学校長あいさつ

なりました。赴任して二年目を迎え、折々の学校行事や授業風景などに、自分自身が時として十五歳の青春時代へとタイムスリップするような感覚を味わっています。

二十三年四月に中津商業高校より本校に赴任をいたしました。私が、私も本校を昭和四十八年三月に卒業した高校第二十五回生のひとりです。早いもので高田時代から四十年近くの時間が流れたことになりました。豊後高田に生まれ、育ち、そして大学卒業後も豊後高田で生活をし、娘や息子も本校にお世話になる中、教師としては母校高田高校に勤めることなく、今回初めての勤務となります。大畑雅英前校長(本校卒業生)の後を引き継ぎ、地域に密着した多様な学習のできる学校づくり、将来の自己実現に向けて心優しく、逞しい人づくりに励んで参りたいと思っています。

学校も私達高校時代の面影は、昭和四十二年の国民体育大会時に建築された体育館、そして波形屋根の長い渡り廊下、そして前庭の噴水ぐらいたってしまいました。管理棟、教室棟校舎が一新され、丸いかまぼこ屋根の旧体育館も多目的競技場へと



変わり、生徒にとつては素晴らしい教育環境が整ってきていると感じています。当時とは異なり、少子化の波の中、普通科四クラス規模となりましたが、豊後高田市唯一の高校として「青雲に翔べよ青鷹、眉上げて未来を思え」の校歌の如く、生徒諸君には、しっかりと未来を見据え、大空へ羽ばたくことを期待しております。

高校時代は、自分自身が打ち込み、必死に努力する「ひたむきさ」が求められる時代(とき)ではないかと思えます。勉学にしろ、部活動にしろ、自分で納得のいくまで夢を追いつけることが、自己を伸ばすことになると思うのです。「ひたむきさ」を

漢字混じりで書くと「直向きさ」と国語辞典にあります。日本語は、本当によく物事の本質を表すことのできる言葉だと思えます。「物事を真っ正面から捉え、そして正対して考え、誠実に取り組むこと」が、まさに「ひたむきさ」なのだと思いためて考えさせられました。打ち込むものが見つからず、見つけようと必死に悩み・苦しんでいる生徒もいます。しかし、その悩み

に真剣に、そして「ひたむき」に真向かい、解決策や心のあり方を考えていけばよいのではないかと思います。一心不乱に数学の問題にかじりついて解法を探し、意味のとれない英文を何度も読み返しては訳してみる、バットの素振りを繰り返す、入らないサーブを何球でも打ち続ける、学校行事にクラス一丸となつて取り組むなど、すべてその瞬間において、ひたむきで誠実な自分が、そこには居るのではないかと思えます。生徒諸君には、自己の可能性を信じ、夢実現の階段を上り続けてもらいたいと思っています。

故郷を離れている同窓の方々、母校への想いと桂川のせせらぎ・真玉海岸の落陽・都甲谷や田染耶馬の紅葉など故郷「高田」を懐かしく思う愛郷の念には、深く心打たれるばかりです。学校正門の小さな松の木は、今もあまり変わることなく生徒の登下校を見守ってくれています。同窓会の皆様には、平成二十二年の学校創立百周年記念事業におきまして、物心両面での多大なるご支援をいただきましたことに心より御礼を申し上げます。今後とも在校生へのご声援をお願い申し上げますと共に、同窓会の一層のご隆盛をご祈念申しあげ、ご挨拶と致します。



支部だより

◆在京同窓会

◎近年では一番の盛況!◎

在京高校同窓会幹事長

山田 一太

二十四年六月二日、東京ドームホテルで在京同窓会が盛大に開催されました。今回は参加者が百五十名という最近では一番の集まりとなりました。高田からは桑原同窓会長、鴛海副市長、工藤事務長、中尾PTA会長、加えて若宮八幡の吉成宮司を始めとする関係者などにおいて頂きました。恒例のビンゴゲームの景品には市から田染の庄米の提供がありました。故郷の米を手に入れようと大いに盛り上がり、射止めた方々は大喜びでした。ご協力ありがとうございました。今回の出し物は福島のパラソールさんからのフラダンスでした。後半、参加者もステージに上がり慣れない腰つきで一緒に踊る場面もあり、会場は一層なごんだ雰囲気になりました。最後は全員が輪になつてのいつものように盆踊りで締めました。

特筆すべきは、なんととっても若い世代の参加があったことです。このところ若い人の参加

がなく同窓会の先行きを心配していたところですが、今回は平成卒だけでも八人の参加がありました。役員会では最近の参加者の通減傾向に危機感を抱き、二十三年暮れに羽矢会長を中心にPTを設置し、参加者拡大のための取り組みを始めました。

参加の少ない五十年卒以降の同窓生へダイレクトメールでの働きかけ、母校への協力依頼、個人的なつながりからの掘り起こしをするのと同時に、開会時間を夜から昼への変更、参加費を安くするなど様々な取り組みをしました。こうした取り組みの結果が若い人の参加につながり、全体の参加者数の拡大につながったものと思います。

なお、二十五年度の同窓会は六月一日(土) 正午開会、場所



本校にて吉村校長と

は竹橋の如水会館の予定です。関東在住の同窓生は是非ともスケジュール表への記入をお願いいたします。これまで参加されなかった方も是非とも参加し、みんなで同窓会を盛り上げていきましょう。

◆関西同窓会

佐伯 一也

平成二十三年度高田高校関西同窓会懇親会は、平成二十四年二月二十六日正午から大阪市北区の大阪弥生会館で行いま

した。郷里から来賓の吉村昌也校長、中尾勉PTA会長、桑原重

信同窓会長、公私多忙の永松博文市長をお迎えして総勢八十余名の参加で賑やかな懇親会とな

りました。吉村校長(母校S四十八年卒業)から、『創立百

周年を経て新世紀に入り、『普通科単独校』となり普通科の学区制が廃止され全県一区になつ

たりと変革しています。そんな中生徒は、学業、クラブ活動に

励み、進学、就職とも順調に進行しています。』桑原同窓会長

は、『母校創立百周年記念事業が学校関係者、同窓会など多く

の方々の支援と協力により、記念行事を盛大に完了することが

出来、心より御礼申し上げます。』と謝辞を頂きました。永

松市長からは、『豊後高田市を代表する施策、「観光の昭和の町」と「教育の学びの二十一世紀塾」が共に誕生十周年を迎え

着実に成果が上っている。今後の市政として「十年後の人口三万人」の実現のため、直接人口増に結びつく「健康なまちづくり」、「婚活促進事業」、「住みたくなるまちづくり」を

施策として取り組んでいる』などの挨拶がありました。

乾杯の後は、卒業年度ごとのテーブルで、旧交を回顧した

り、近況を語り合い、飲食が続き余興は定番となった同窓の近

藤義人氏のマジックショウ(永松市長の要望で、十一月八日高田中央公民館において、「地域

開発協議会」の余興として里帰り披露された)、趣向を変えて

ハードロックバンドを招待して活発な演奏歌を堪能しました。

次いで恒例のビンゴゲーム、草地踊り、校歌合唱の後、記念写真撮影で締め括りました。帰り

には桑原同窓会長から珍味アミ塩漬を土産に散会しました。

二次会は、有志三十余名が参加してカラオケ、おしゃべりで和気藹藹、楽しいふれ合いの時間でした。

世話人会は、毎回の出席者

八十名以上、S五十年以降卒業者の増加を念頭に議論していま

すが、今回は七十九名、五十年代卒業業者六名の出席でした。

次回の懇親会は、平成二十五年二月二十四日正午から大阪弥生会館で開催します。参加すれば、高田高校三年間に培われた

同窓の絆が、世代を超えて青春を回想し、楽しい体験を誘ってくれると思います。年令不問、特に若い人の参加が増えて、活

気溢れる「関西同窓会懇親会」となることを期待します。



平成22年度総会にて、桑原前会長と



高田高校第6期(昭和十九年卒) 喜寿記念祝賀同窓会

第六期本部会事務局長

阿部 節男

私共第六期生は卒業以来五十九年目となり、七十七才となりました。全国より約六十名が集まり十一月二十四日、二十五日、市内中之島旅館にて「喜寿同窓会」を高田高校吉村昌也校長をお迎えして、地元本

部世話人会主催で開催する事となりました。

記念撮影後、式典は司会進行が幹事の大江剛二郎君、安東幸孝副会長の「開式のことば」で始まり、物故者六十五名に司会者の主唱で黙祷。続いて、幹事の山田耕介君のリードで全員による校歌を斉唱、和らいだ雰囲気醸成。母校吉村校長からご祝辞を頂きました。

続いて、土屋正雄会長から多くの方々が体調不良をうったえているなかで、多数の皆さんの出席に感謝すると共に、長寿社会のなか、健康に留意し、「介護を必要としな



い百才以上に仲間入りできるよいう頑張りましよう」と力強く話しました。

祝儀三番として川野一昭君の謡曲「養老」。詩吟は、全国一位入賞の土屋会長の「名槍日本号(黒田節入

り)」、超一流の吟に一同聞き惚れる、少し遅れて、舞踊の花柳有句武様の「祝賀の舞」で祝儀三番が終わった。

式典の最後に阿部事務局長より諸連絡及び翌二十五日の母校訪問、県立博物館特別展等について説明し、多くの人の参加を呼びかけて、式典を閉じ、宴会へと移行した。

里帰り講演会

◆平成二十三年度◆

「あなたの人生で夢中になれるものを探し求めよう!」

Stay hungry.そしてこそ楽しくあれ!

京都大学大学院医学研究科人間健康科学専攻看護学コース

谷口 初美

校長の吉村先生からこのお話でお電話を頂いた時、

「高田高校の吉村です。」「はい」「吉村です。」「はあ?」「

「同級生の吉村です。」「同級生? (たしかにその様なお名前の方はいらしたな)」

ちよつと待って下さい。過去四十年をこの数秒で思い出すのは...

この様な電話での会話でした。「あれから四十年」綾小路

きままるではありませんが、高田高校を卒業して本当に四十年

です。なんと人生はあつという間なのでしょう! 私は、卒業後一度

も高田高校の同窓会というものにも参加した事がありません

でした。吉村先生に卒業記念アルバムを送って頂きました。開くかどうかでしよう! 四十年間の空白の時間がスーッと時空を超えて四十年前のあの頃に戻り、一人ひとりのクラスメートとの思い出が鮮明に呼び戻るのです。四十年



間一度も会う事もなく思い出す事もなくてもです。本当にびっくりですね。人間の記憶力ってどうなっているのでしょうか！アルバムの寄せ書きには、何と私らしい言葉が書き記してありました。「青春、それは夢に向かって進むこと！」この言葉を見た時、「こんなこと書いていたんだあの頃、しかし私この言葉で今も生きていくなら。」しかし、もつとびつくりした事は、担任の長野先生が寄せ書きの中央に書いていた言葉でした。「運は天にあり、努力は人にあり」まさにそうだなと感じいたものでした。

しゃらにそしてこころ楽しく探し求めてほしい。」ということですが、現代の若者を九十分間集中させることに戦略を練ったあげく、ゲームソフトが大好きなメディア世代、映像、クイズ、京都大学グッズで釣ろうか？？？結果はいかがだったでしょうか？参加型の講演会で私も学生の皆さまと交わる事ができ大変楽しいひと時を持てた事、嬉しかったです。「少年よ、大志を抱け！」大きな夢を抱いて下さい。しかし、人生は思うようになりませんが、あきらめずにその夢にむかって最大限挑戦することです。「意と思あるところに道はひらける。」あきらめるとそこで一巻の終わりです。世界で最も尊敬されているアメリカ大統領アブラハム・リンカーンでさえ何度も何度も失敗して、ついに自分の意思を貫きました。「求めなさい。そうすれば、与えられる。探さなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば開かれる。」

ob'sの名言「自分がすばらしいと信じる仕事をする。自分がやっている仕事を愛すること。Stay hungry, stay foolish」あなたの存在は、偶然ではありません。あなたのユニークさはだれもまねするのとはできません。他人と比べる必要はないのです。元東京女子大学長湊晶子先生は、次の様に若い人々に生きる目的を喚起しています。「何かを追求し続け、判断力、決断力を養い、どんな困難にぶつかってもそれを克服できる人間力、生きる力を備え、どの様な時にも責任ある行動を毅然として取ることが出来る人間に成長してほしいものです。」私も同感です。

最後に、講演で示しましたが To know (知ること) だけでは十分ではない。To do (それを実行すること) が大切である。しかし、最も大切なことは、To be (あなたがあなたとして存在すること) である。と新渡戸稲造先生は述べられています。あなた自身を大切にしてい人生を生きに行ってください。

青鷹のように天高く、あなたの人生で夢中になれるものを探し求めてください！「がむしゃらにそして、こころ楽しくあれ！」

た。地元でがんばる人、都会でがんばる人、まさに「人生いろいろ」であります。そして、一生懸命やった後は、「何事もご縁だなあ」と結果を受け入れる味わいがまた大切だろう、と申し上げました。

この講演会の始めに、若い同窓生で今活躍中のシンガーソングライター今成佳奈さんが登場されました。すばらしいことです。益々のご成功を念じています。そして、私は講演の締めくくりには、私の失敗談のお口直しにと、同級生の江藤正和氏がアサヒスーパードライを創った輝かしい話を披露させていただきました。高田高校万歳！

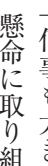
楽しそうによく聞いていただいた在校生諸君のご成功を念じ、母校の益々のご発展、同窓会員ご一同皆様のご健康とご多幸を心から念じ上げる次第でございます。皆様どうぞお元気で！



◆平成二十四年度◆

皆様どうぞお元気で！

第十七期卒業



(呉崎 興隆寺 住職)

同窓会員の皆様

お元気ですか。お伺い申し上げます。多くの先輩同輩後輩の顔が目に浮かびます。本当にお懐かしいことでございます。

さて、去る十一月六日、母校に於ける同窓会主催「里帰り講演会」で、不肖私ごとき者が、

全在校生を前にお話するご縁をいただきました。ここにご報告申し上げます。ここにお願い申し上げます。次第でございます。演題は、「私の失敗は生徒の皆さんの成功のもと」という

気持ちで、「何事も一生懸命に——失敗は成功のもと——」にいたしました。

大学入試の失敗、カナダ開教使時代エリザベス女王様と謁見での失敗、帰国後の高田高校英語科非常勤講師授業での失敗等、失敗談には事欠きません。志は大きかったのですが。

このような話に交えて「人生は生きてみないとわからない」「何事も大きな志を持って一生懸命に取り組むと道が開けてくるに違いない」とお話ししまし

合掌

合掌

合掌

過去3カ年の進路状況 (大学等合格者数及び就職者数)

Table showing career trends from H21 to H23, categorized by university type (National, Private, Short-term, Specialized) and employment (Company, Public, Total).

主な進学・就職先

進学

・国公立大学及び所管外の大学校

Table listing university admissions for national/public universities and other institutions, including Hokkaido Education, Keio, and others.

・私立大

Table listing university admissions for private universities, including Aichi Medical, Keio, and others.

・短期大学

Table listing admissions for short-term universities, including Aichi Gakuin and others.

・専門学校

Table listing admissions for vocational schools, including Aichi Hospital and others.

就職

Table listing job placements for graduates, including TRI, Aon, and various companies.

平成24年度特別活動 部活動の主な結果

1. 部活動、同好会

部活動：文化系11、体育系12
入部率：全体77%：1年66%、2年88%、3年78%
(5月1日現在)

2. 強化指定競技 (団体・個人)

財団法人大分県体育協会

最重点強化指定競技A カヌー
育成強化指定競技 (団体) 空手道

3. 部活動の結果

〈第60回大分県高等学校総合体育大会 2012〉
(5月19日～6月4日)

Table of sports results for Judo (柔道部) and Table Tennis (卓球部) for girls.

Table of sports results for Individual (個人戦), Volleyball (バレーボール部), and Table Tennis (卓球部) for boys.

Table of sports results for Basketball (バスケットボール部) and Table Tennis (卓球部) for girls.

組手	渡辺寛大・堤涼一郎	1回戦敗退
	塩崎進	2回戦敗退
	乾佑亮・荒平賢孝・吉岡智章・安藤稜	3回戦敗退
(女子) 団体戦		
1回戦	高田高 2-0	日本文理大附属高
2回戦	高田高 2-3	中津北高
組手	野上菜月・植田春菜	1回戦敗退
	是永瞳	準優勝 → 九州大会

カヌー一部 (男子)		
(男子)		
男子総合優勝	九州大会・全国大会	
K-1 2位	立花聖大 3位 北洗貴 → 九州大会	
K-2 優勝	立花聖大・山崎慶人 → 全国・九州大会	
K-4 優勝	立花聖大・北洗貴・早尻依正・山崎慶人 → 全国・九州大会	
C-1 3位	次良丸透 → 九州大会	
C-2 優勝	安藤龍大・熊井友弥 → 全国・九州大会	
C-4 3位	次良丸透・安藤龍大・熊井友弥・進藤恵太郎 → 九州大会	
(女子)		
女子総合3位		
K-1 優勝	熊井未来子 → 全国・九州大会	

水泳 (男子)		
400M自由形	近藤樹	4分05秒78 (大分県高校生) 優勝
400M個人メドレー	近藤樹	4分36秒83 優勝

(九州大会)		
柔道部		
○九州ジュニア柔道体重別選手権	(6月30日～7月1日) (佐賀市)	
55kg級	植木慎	2回戦敗退
○金鷲旗大会 (7月22日～7月23日)		
団体戦		
1回戦	高田高 1人残勝	武相高 (神奈川県)
2回戦	高田高 代表戦負	近大附属高 (大阪府)

空手道部		
(男子)		
○全九州高校総合体育大会 (7月13日～15日) (佐世保市)		
団体戦		
1回戦	高田高 3-2	佐賀西高
準々決勝	高田高 1-4	鹿児島城西高
(女子)		
個人組手		
1回戦	是永瞳 12-4	中嶋 (高鍋高)
2回戦	是永瞳 2-1	松浦 (八女学院高)
3回戦	是永瞳 0-8	沖田 (九州学院高)

カヌー一部		
(男子)		
○全九州高校総合体育大会 (6月15日～17日) (豊後高田市)		
K-1 2位	立花聖大・北洗貴 (準決勝敗退)	
K-2 3位	立花聖大・山崎慶人	
K-4 3位	立花聖大・早尻依正・北洗貴・山崎慶人	
C-1 4位	次良丸透 (準決勝敗退)	
C-2 4位	安藤龍大・熊井友弥	
C-4 6位	次良丸透・安藤龍大・熊井友弥・進藤恵太郎	
(女子)		
K-1 2位	隈井未来子	

九州ブロック国体		
K-2 立花聖大・北洗貴 (出場枠2位まで)		→ 5位
K-1 隈井未来子		→ 2位 国体出場獲得
陸上部		
○北九州大会 (6月14日～17日) (佐賀市)		
400m	永松龍志	52秒43 予選落
砲丸投げ	東大介	10m23 予選落
やり投げ	出口樹	記録なし 予選落
円盤投げ	出口樹	30m18 予選落
三段跳び	出口樹	11m56 予選落
水泳		
○全九州高校水泳競技大会 (7月14日～16日) (宮崎市)		
400M自由形	近藤樹	4分04秒09 2位
400M個人メドレー	近藤樹	4分34秒29 5位

(全国大会)		
カヌー一部		
○全国高等学校総合体育大会	(8月4日～8月7日) (石川県小松市)	
(男子)		
K-2	500メートル・200メートル	立花聖大・山崎慶人 (準決勝敗退)
K-4	500メートル (準決勝敗退)・200メートル	3位
		立花聖大・早尻依正・北洗貴・山崎慶人
C-2	500メートル (準決勝敗退)・200メートル	9位
		安藤龍大・熊井友弥
(女子)		
K-1	500メートル	5位・200メートル 優勝
		隈井未来子

○日本カヌー選手権大会	(8月19日～8月22日) (山梨県精進湖)	
(男子)		
K-4	500メートル	5位・200メートル 2位
		立花聖大・早尻依正・北洗貴・山崎慶人
C-2	200メートル	9位
		安藤龍大・熊井友弥
(女子)		
K-1	500メートル	2位・200メートル 優勝
		隈井未来子
K-4	500メートル	3位・200メートル 2位
		(大分県選抜チームに隈井未来子)

○ぎぶ国体 (10月2日) (岐阜県)		
K-1	200メートル	優勝 隈井未来子
K-1	500メートル	2位 隈井未来子
空手道部 (女子)		
○全国高等学校総合体育大会	(7月27日～8月2日) (新潟市)	
個人組手		
2回戦	是永瞳 0-8	北村 (神戸第一高)
水泳		
○全国高等学校総合体育大会 (新潟市)		
400M自由形	近藤樹	4分0秒59
400M個人メドレー	近藤樹	4分29秒93
○JOCジュニアオリンピック (8月26日～30日) (東京都)		
400M自由形	近藤樹	4分0秒03
200M個人メドレー	近藤樹	2分7秒46
400M個人メドレー	近藤樹	4分30秒63
○岐阜国体 (岐阜市)		
100M自由形	近藤樹	53秒30
400M自由形	近藤樹	4分02秒70 7位
400M個人メドレー	近藤樹	4分29秒93

(大分県高等学校新人大会)		
バレーボール部 (女子)		
○平成24年度フレッシュバレーボール大会	(9月8日) (大分鶴崎工高)	
2回戦	高田高 2-1	大分舞鶴高
3回戦	高田高 0-2	別府商業高
陸上部		
(男子) (9月15日～16日)		
400m	永松龍志	51秒35 優勝 → 九州大会
800m	岡部大介	2分7秒66 8位
	河野友彰	2分5秒02 5位
1500m	河野友彰	4分24秒90 8位
5000m	伊藤高紀	17分48秒07 22位
	板井佑樹	17分52秒94 24位
3000mMSC	加来善亮	11分21秒09 11位
	川下弘晃	11分52秒08 12位
三段跳び	出口樹	12m47 3位 → 九州大会
円盤投げ	松木亮	28m07 6位
やり投げ	出口樹	44m90 3位 → 九州大会
4×100m	進藤・永松・表・出口	45秒00
4×400m	岡部・御崎・表・永松	2分45秒71
(女子) (9月15日～16日)		
400m	安藤菜々美	1分03秒21 6位
やり投げ	都留愛美	26m07 7位
水泳		
(9月22日: 大分市)		
200Mバタフライ	近藤樹	2分05秒23 2位
200M個人メドレー	近藤樹	2分04秒99 1位

バスケットボール部		
(男子) (10月28日: 大分市)		
1回戦	高田高 42-66	三重総合高
(女子) (10月28日: 大分市)		
1回戦	高田高 39-81	大分舞鶴高

テニス部		
(男子) (10月13日～14日: 大分スポーツ公園)		
団体戦		
1回戦	高田高 2-0	海洋科学高
2回戦	高田高 0-2	大分西高
準々決勝	高田高 0-3	大分舞鶴高
		団体ベスト8
(女子) (10月13日: 大分スポーツ公園)		
団体戦		
1回戦	高田高 2-3	別府商業高

柔道部		
(10月27日～28日: 大分県立総合体育館)		
団体戦		
1回戦	高田高 5-0	大分工高
2回戦	高田高 4-0	日田林工高
決勝リーグ (2勝1敗)		九州大会へ
	高田高 2-1	大分東明高
	高田高 0-4	柳ヶ浦高
	高田高 2-1	国東高
個人戦		
81kg級	但馬総汰郎	2位 → 九州大会
90kg級	湖野勇太	2位 → 九州大会

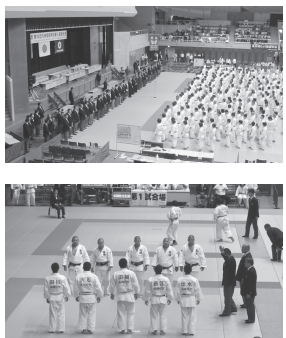
カヌー一部		
(男子) (10月13日: 豊後高田市)		
男子総合優勝		
K-1 優勝	山崎慶人	
K-2 2位	山崎・在永 3位 小野・松成	
C-1 優勝	熊井友弥 3位 安藤龍大	
C-2 優勝	熊井・安藤	
(女子) (10月13日: 豊後高田市)		
WK-2 3位	遠藤・山田	

空手道部		
(男子) (10月13日～14日: 杵築市)		
男子団体形・個人形		予選敗退
男子団体組手	準優勝	
	高田高 4-1	杵築高
準決勝	高田高 4-1	中津北高
決勝	高田高 0-5	柳ヶ浦高
男子個人組手		
	安藤稜 (ベスト8)	
	荒平賢孝・乾佑亮 (4回戦敗退)	
	吉岡智章 (3回戦敗退)	
	野間友貴・渡辺寛大・塩崎進・堤涼一郎 (2回戦敗退)	
(女子) (10月13日～14日: 杵築市)		
女子団体形	3位	
女子団体組手	3位	
2回戦	高田高 2-1	杵築高
準決勝	高田高 1-4	大分南高
女子個人形		
	是永瞳・植田春菜 (準決勝敗退)	
	野上菜月 (予選敗退)	
女子個人組手		
	是永瞳 (優勝)	
	植田春菜 (ベスト8)	
	野上菜月 (2回戦敗退)	

(九州大会)		
カヌー一部 (男子)		
○九州高校新人兼九州カヌー選手権大会	(豊後高田市: 10月26～28日)	
K-1 3位	山崎慶人	
C-1 2位	熊井友弥	
C-2 優勝	安藤・熊井	

(全国高校ラグビー競技大会県予選)		
ラグビー部		
(駄の原、湯布院: 10月21日・28日)		
1回戦	高田・大商高 37-12	白杵高
2回戦	高田・大商高 0-89	大分工高

4. 特別活動部のおもな行事 (2学期～)
 【9月】・9/11 (火)～12日 (水) 青鷹祭
 ・9/28 (金) 体育大会
 【10月】・10/11 (木) ふるさと清掃
 ・10/31 (水) 後期生徒会役員選挙



柔道部より
 こんにちは、柔道部です。先生は県優勝に向けて大村英達先生の指導のもと、男子11人女子1人で活動しています。同窓会の皆様方には奨学金をいただき、目標に向かって一生懸命に練習しています。11月24日、25日、26日の3日間、大分県立総合体育館で開催される九州高校新人柔道大会に、厳しく練習をして出場します。新人大会の出場権は勝ち上がり、九州大会への出場は2勝1敗以上、決勝リーグへの出場は2勝以上、準決勝への出場は3勝以上、決勝への出場は4勝以上です。練習の成果をぜひお見せしたいと思います。練習の成果をぜひお見せしたいと思います。

お世話になります。同窓会の皆様には、大変よろしくお願いたします。

平成24年度 同窓会予算書

◎収入の部 (自 平成24年4月1日～至 平成25年3月31日)

科目	前年度 予算額	前年度 決算額	本年度 予算額	本年度 予算増減	備考
繰越金	1,766,091	1,766,091	693,726	△ 1,072,365	
入会金	465,000	465,000	480,000	15,000	新入生160名×3,000
卒業生年会費	158,000	157,000	144,000	△ 14,000	卒業生144名×1,000
一般年会費	3,000,000	2,511,683	2,300,000	△ 700,000	過去5年間の会費納入者のみ
雑収入	909	234	274	△ 635	
合計額	5,390,000	4,900,008	3,618,000	△ 1,772,000	

◎支出の部

科目	前年度 予算額	前年度 決算額	本年度 予算額	本年度 予算増減	備考
職員手当	120,000	120,000	120,000	0	10,000/月×12ヶ月
旅費	300,000	316,180	320,000	20,000	東京、大阪同窓会4名分旅費
参加費	80,000	61,000	80,000	0	東京大阪同窓会4名分参加費
慶弔費	100,000	113,500	100,000	0	各支部祝儀他
印刷物発行費	2,300,000	2,332,975	1,050,000	△ 1,250,000	過去5年間の会費納入者
会議費	120,000	82,250	100,000	△ 20,000	総会、役員会
通信費	150,000	119,943	130,000	△ 20,000	八ガキ、電話代
資料整備費	50,000	0	50,000	0	
消耗品費	20,000	20,000	20,000	0	
助成金	200,000	200,000	200,000	0	
奨学金	360,000	360,000	360,000	0	
予備費	590,000	480,434	1,088,000	498,000	
繰越金		693,726			
同窓会基金繰入	1,000,000		0	△ 1,000,000	
合計額	5,390,000	4,900,008	3,618,000	△ 1,772,000	

編集後記

まず始めに先日お亡くなりになった岩田良康副会長のご冥福をお祈りします。役員会で高校の現状に対する思いを熱く語られた様子が印象的でした。同じ教員として、少しでもその情熱を引き継いでいけるよう精進したいと思います。

また、事務局の不手際で二十三年度は会報の発行ができず、多くの方々にご迷惑をおかけしたことを深くお詫びいたします。会費の納入にも支障を来すこととなり、たいへん申しわけありませんでした。今後はそのようなことの無いよう鋭意努めてまいります。

さて、去る6月9日(土)にホテル清照にて総会が行なわれました。本年は2年毎の役員改選の年に当たり、桑原前会長から、百周年実行委員長を務めていただいた永松新会長にバトンが渡されました。またその後の役員会で、副会長では、諸般の事情から原田誠一郎様ご勇退のため前校長大畑雅英様と宗勝文様に、大田支部長も同様に渡部義彦様から安藤博昭様に、

監査委員も以前の安東幸孝様、藤原駿治様、都甲栄岐子様の3名から鹿嶋節雄様、在永恵様、都甲さおり様に交替していただきました。皆様よろしくお願いたします。

各期の同窓会活動も活発で、6期

の皆様については4頁の通りですが、つい先日は7期の熊井進様と永松幸正様が来校され、故藤原義孝先生の宮中歌会始

入選歌の歌碑建立についてご報告いただき、記念誌の寄贈に加えて、委員会の活動資金の余剰分から同窓会へご芳志までいただきました。たいへんありがとうございます。都甲桂一実行委員長をはじめ、委員や世話の方々の方々の意気軒昂なお姿を頼もしく感じますとともに、今後益々のご健勝を祈念いたします。

今後も可能な限り同窓の皆様活躍をお伝えしていきたいと考えていますので、各期でお集りの際はぜひ本校事務局にもご一報ください。

現役高校生の活動ではやはりカヌー部の3年隈井未来子さんのインターハイ、国体優勝が注目されました。今年度は地元のも真玉B&Gでインターハイが開催されます。応援の程よろしくお願いたします。昭和六十一年卒 高三十八期 同窓会事務局

岩野 文昭



新メンバーを交えた第3回役員会

住所 大分県豊後高田市玉津1834-1
郵便番号 879-0606
電話・FAX番号 0978-22-1236
メールアドレス aotaka@circus.ocn.ne.jp
ホームページURL http://aotaka.net